

# U.S. Indicators

発表日: 2023年10月5日(木)

## 米国 9月の非製造業部門は緩やかな減速傾向を維持

～多数の企業は現状楽観も一部の企業が先行きを若干懸念～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年9月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、53.6(前月54.5)と市場予想の53.5(筆者予想53.8)を上回った。ただし、前月比0.9%ポイント低下しており、米国の非製造業部門の拡大ペースが減速したことを示している。活動指数、入荷遅延が前月から上昇した一方、新規受注、雇用が低下した。事業活動の堅調さを映じて、活動指数が上昇し高い水準を維持したほか、需要の拡大を背景に、入荷遅延が拡大縮小の分岐点である50を上回り、納入に若干遅れが生じ始めたことを示唆した。雇用は前月の大幅上昇の反動で低下したが小幅にとどまり、比較的高い水準を維持した。また、拡大した業種数は、全18業種中13種と8月の13業種と変わらず、多くの業種が拡大を続けている。さらに、回答者の大多数は景気や経済の状況について楽観的な見方を示した。

一方、新規受注が先行きへの懸念の高まり等を背景に大幅に低下し、減速傾向の継続を示唆している。また、回答者の一部は、事業活動への逆風の可能性について懸念を示した。

米非製造業部門は、米中堅銀行の破綻、米国債のデフォルト懸念の高まり等の影響もあり、3、4、5月に大幅に減速した。しかし、6月に金融不安の大幅な後退やデフォルト懸念の払しょく、需要の拡大等を背景に持ち直し、8、9月に22年初をピークとした緩やかな減速トレンドに回帰した。非製造業部門の拡大ペースは、FRBの大幅な利上げや高インフレ、市場金利の上昇等の影響を受け、緩やかな減速傾向を辿っていると判断される。

9月に拡大した業種数は、18業種中13業種と8月の13業種と変わらず、多くの業種が拡大した。拡大した業種は、強い順に不動産・賃貸・リース業、小売業、鉱業、その他サービス、公益、医療・社会支援、金融・保険、建設業、専門・科学・技術サービス、公的部門、情報産業、運輸・倉庫、教育サービス(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。一方、縮小した業種は、農林水産業、芸術・娯楽、レクリエーション、宿泊・飲食サービス、企業向けサービス、卸売業の5種(8月5業種)にとどまった。

非製造業総合指数の構成項目では、活動指数が58.8(前月57.3、前月比+1.5%ポイント)、入荷遅延が50.4(前月48.5、前月比+1.9%ポイント)と上昇した一方、新規受注が51.8(前月57.5、前月比▲5.7%ポイント)、雇用が53.4(前月54.7、前月比▲1.3%ポイント)と低下した。

総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比+0.48%ポイント、活動指数が前月比+0.38%ポイントの押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲1.43%ポイント、雇用が前月比▲0.33%ポイントの押し下げ寄与となった。

サブ項目では、新規輸出受注が63.7(前月62.1、前月比+1.6%ポイント)と上昇し高い水準を維持、サービス輸出の高い伸びを示した。一方、輸入は50.6(前月52.3、前月比▲1.7%ポイント)と低下し、サービス輸入の一段の鈍化を示した。

インフレ環境では、仕入価格指数が58.9(前月58.9)と変わらずとなり、インフレ圧力が依然強い



ことを示した。労働コスト、電気部品等の継続的な上昇のほか、ガソリン、ディーゼル燃料、木材等の上昇によって押し上げられ、価格指数が高止まりした。また、供給不足の分野として、変圧器、建設業や熟練などを含む労働、電気部品が挙げられた。

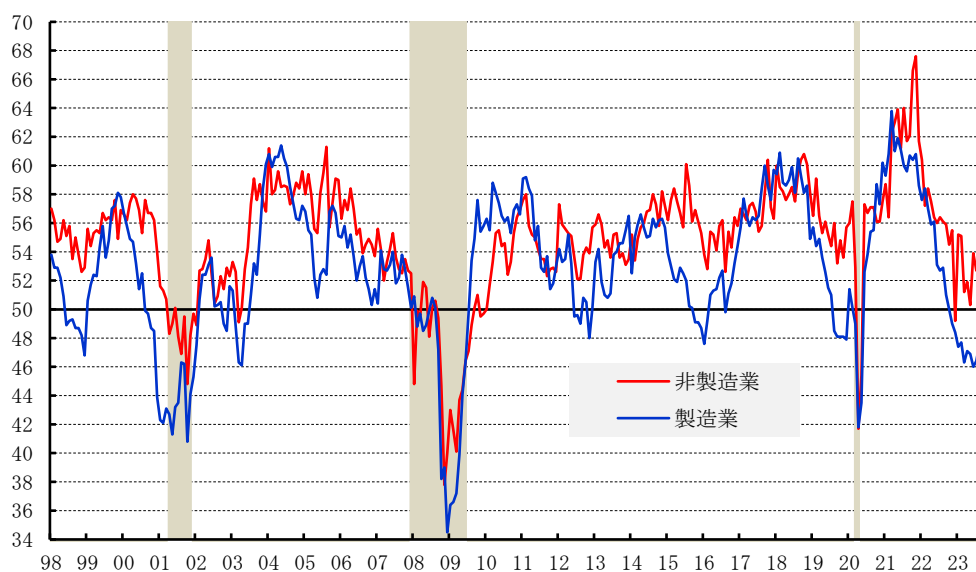
米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、9月に53.1（8月53.8）と低下し、景気拡大ペースの鈍化を示した。四半期では、7－9月期の製造業が47.7と4－6月期の46.7（1－3月期47.1）から改善したほか、非製造業が53.6と4－6月期の52.0（1－3月期53.8）から上昇した。この結果、7－9月期のISM総合景気指数は、53.0と23年1－3月期の53.2を下回っているものの、4－6月期の51.5から上昇しており、7－9月期の米国需要が前期比で強まったことを示している。

### ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
22/09	55.9	58.3	59.2	52.3	53.9	52.5	69.8	65.1	44.1
22/10	54.5	55.6	56.8	49.2	56.2	52.2	70.9	47.7	47.2
22/11	55.5	61.6	55.8	50.6	53.8	51.8	70.1	38.4	47.9
22/12	49.2	53.5	45.2	49.4	48.5	51.5	68.1	47.7	45.1
23/01	55.2	60.4	60.4	50.0	50.0	52.9	67.8	59.0	49.2
23/02	55.1	56.3	62.6	54.0	47.6	52.8	65.6	61.7	50.6
23/03	51.2	55.4	52.2	51.3	45.8	48.5	59.5	43.7	52.8
23/04	51.9	52.0	56.1	50.8	48.6	49.7	59.6	60.9	47.2
23/05	50.3	51.5	52.9	49.2	47.7	40.9	56.2	59.0	58.3
23/06	53.9	59.2	55.5	53.1	47.6	43.9	54.1	61.5	55.9
23/07	52.7	57.1	55.0	50.7	48.1	52.1	56.8	61.1	50.4
23/08	54.5	57.3	57.5	54.7	48.5	41.8	58.9	62.1	57.7
23/09	53.6	58.8	51.8	53.4	50.4	48.6	58.9	63.7	54.2

(出所) ISM

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。